

マニラ日本人会 2022 年 10 月理事会議事録

日 時：2022 年 10 月 25 日(火) 13:00～13:50

場 所：マニラ日本人会 22 階大会議室 対面会議

出席者：高野誠司(会長)、家田昌彦(顧問)、餅原 力(副会長)、
岡本淳宏(副会長)、岡本和典(総務理事)、辰巳賢一
(財務理事)、片桐 浩(監事)、下田 茂、篠原孝夫、
森 啓輔、松尾 健、橋田武志、岡本 健、
(以上各理事)
高岡真紀子、藤田 弘通、中村 和生、伊藤 淳、
岩渕一郎、下田裕深、尾崎弘一
(以上各推薦理事)

オブザーバー：＜在比日本国大使館＞ 岡島公使兼総領事、

I. 協議事項

1. 2022 年 9 月理事会の議事録について

- ・異議なく承認された。

2. 2023 年度役員人事・推薦理事人事・委員会人事について

- ・高野会長より、2023 年度当該人事が発表された。
- ・年度内であること、大きな異動もないため、五役(会長・顧問・副会長・総務理事・財務理事・監事)は変更なし。推薦理事も変更なし。委員会の委員長も続投。日比友好文化委員会副委員長のみ餅原氏から松尾氏に交代。今回、推薦理事を敢えて増やさないで、少数精鋭で活性化を図っていききたい、との説明があった。
⇒特に意見もなく、承認された。

3. 2022 年定例会員総会開催について

- ・高野会長より、11 月 22 日(火)に 3 年ぶりに対面で開催する。例年より開始時間を 1 時間早めて 16 時から総会、17 時から越川大使による記念講演、18 時から懇親会を開催する。会場は例年と同じ Dusit Thani、との報告あり。

- ・事務局より補足、総会の案内状と委任状を 10 月末に発刊する「まぶはい」に差し込む。加えて、日本人会メルマガを活用して会員に案内する。多くの会員に出席いただくのと合わせて出席いただけない方から委任状を提出いただくよう働き掛ける。

⇒特に意見もなく、承認された。

4. 2022 年度決算(速報) 報告および 2023 年度予算案承認について

①辰巳財務理事より、クラブ部門の 22 年度決算、23 年度予算案について、説明された。

- ・22 年度「損益計算書」の説明、収入はほぼ予算並み。支出は人件費が前事務局長慰労金を計上したため予算比 122%、事業費がコロナ禍の影響でイベントが開催出来なかったため P3.24M 減(予算比 26%)、コロナ禍で 1 年以上の会費未納者が増加したため、今回 1 年以上 3 年未満の不良債権引当金 P968 千を予算外で計上、支出合計は予算比 96%。結果、当期損益が赤字予算-P1.462 千に対して -P778.3 千と約 P684 千良化。

- ・22 年度「貸借対照表」の説明、22 年度赤字相当額 P778 千が繰越金より目減りしている。

- ・23 年度「予算案」の説明、収入は前年並み、コロナ後の会員増、急激な回復は織り込んでいない。支出の事業費はすべてのイベントを開催するという前提、2022 年 389%となるもコロナ以前の 2018

年比では 106%、不良債権引当金を予算化、当期損益は-P3,435 千。

②岡本(和)総務理事兼診療所運営委員長より、診療所部門の 22 年度決算、23 年度予算案について、説明があった。これまでは理事会では、クラブ部門のみ報告していたが、コロナ禍で診療所の赤字が膨らんできたため、診療所についても説明があった。

・2022 年度、収入 P23.5M(予算比 114%)、支出 P23.4M(予算比 101%)、当期損益-P5.8M(予算比 69%、約 P2.6M 改善)。収入：一般診療患者数 1,128 名(予算 500 名)と想定以上に増加。支出：コロナ禍の影響でスタッフの勤務時間減により人件費が予算比 87%。家賃：予算比 110%、これは会計上の計上の問題、5 年間家賃は不変は変わらず。薬品試薬品：予算比 196%、予防接種増加による。赤字額が想定よりも低いが-P5.8M。

・2023 年度予算、収入：前年比 130%、支出：前年比 115%、当期損益：-P2.9M 赤字予算。2023 年まで赤字、2024 年に黒字化を目指す。収入の一般診療が前年比 242%＝これは患者数 9,000 名ベース、2018 年患者数が 9,900 名であったので、コロナ前の 1/3 以下レベルで想定。健康診断＝2022 年と同額。人件費は前年比 115%＝昇給 5%アップ想定＋土曜日診療再開による。雑費予備費 P740 千＝無理のない範囲で家具の買い替え等を行いたい。当期損益-P2.9M＝翌年 2024 年度での黒字化を目指した予算。

③高野会長による補足説明

- ・2023 年度もクラブ部門、診療所部門とも赤字予算。厳しい状況が続く。
- ・クラブ部門：2023 年度は会員の回復を図りながら、収支トントンを目指す。翌年も赤字が続くようであれば、会費値上げの検討が必要。

- ・診療所部門:過去2年でP30M以上の赤字。2022年度は赤字額が減少して回復傾向が見られる。2023年度は患者さんが来やすい診療所を目指して、2024年度に黒字化を図る。
⇒質問もなく、承認された。

5. 2022年10月新入・退会会員について

- ・事務局から以下のとおり報告があり、異議なく承認された。

*新入法人会員(1件)

- ①FUJIMAK PHILIPPINES CORPORATION 三浦 綾人

*新入個人会員(3件)

- ①浅黄奈美(JICA)、②森利佳、③田畑翔(ADB)、

*退会個人会員(5件)

- ①廣澤仁(JICA)、②小池武生(ADB)、③南雲広(住友倉庫)、④中川功(UNIFISH)、⑤大木一泰(dentsuX)、

以上の入退会承認後の会員数は、法人会員 383 件、個人会員 501 件、賛助会員 15 件、ジュニア会員 1 件、合計 900 件、世帯数は 2,359 である。

II. 大使館からの連絡事項

①岡島公使からの報告

・10/11 より日本の入国規制が大幅に緩和され、コロナ前の水準に戻っている。フィリピン人の査証取得にあたっては代行申請機関(大使館 HP に記載されている)を利用の方がスムーズに行く。

- ・来年の新年会(大使館/日本人会/商工会議所 3 者共催)を 1 月中旬から下旬に開催したい。
- ・天皇誕生日祝賀レセプションを来年 2/20～23 日の間に開催したい。前回 3 年前はシャングリ・ラマカティで開催。前回と同じ規模で開催したい。

Ⅲ. 報告事項

1. 企画委員会（高野委員長）

- ・会員数の回復に向けた提案をいただきたい。合わせて委員会活動を充実させていただきたい。

2. 広報委員会（篠原委員長）

- ・9/30(金)に 3 年ぶりの対面での会合開催。「まぶはい」秋季号の発刊準備中。まぶはい編集委員ボランティアに参加をお願いしたい。

3. 教育委員会（高野委員長）

- ・MJS 生徒数:10 月末 302 名、パンデミック前 450 名と比べると 2/3 レベル、通学バスも 2 台から 3 台に増車。
- ・MJS 予算:MJS 予算年度は 4 月～3 月、2022 年度予算は-P17.3M、上半期実績-P3.2M、年間見通し-P4～5M、改善しつつある。予算策定時の生徒数 225 名⇒現在 272 名、生徒数の増加が寄与。来年度の黒字化に期待。
- ・10/29(土)「PTA まつり」開催。3 年ぶりの対面での開催。
- ・職場見学、職場体験へのご協力のお願いと御礼

4. 診療所運営委員会（岡本委員長）

- ・10/20(木)診療所運営委員会開催。2022 年収支、2023 年予算、事業改善プランを議論。
- ・クレジットカード払いが 11 月から可能。
- ・東芝/伊藤委員による日本人駐在員に対する日本人会診療所に
関するアンケート結果の報告。

日本人会診療所の良さが知られていない⇒パンフレットの作成、まぶはいに差し込み、FB、日本人会メーリングリストの活用等、日本人会診療所の良さをアピールしていく。オンライン診療についても告知していく。

- ・事務所の賃貸契約が 2024 年 3 月で満了。移転候補地の検討を開始している。

5. スポーツ委員会（餅原委員長）

- ・ソフトボール大会の進捗:9/11(日)開幕。予定通りに予選リーグ～決勝トーナメント準決勝終了。

決勝戦はTwo Wheelers とりま組が対戦。前回 2019 年大会と同じ対戦。11/20(日)フィエスタ午後

の部として開催。当日は越川大使にもお越しいただく予定。フィエスタには(条件を満たした)一般の方の入場も可能なため、多くの方に来場いただきたい。

- ・11/20(日)フィエスタ午前の部ドッジボール大会に 100 名以上の参加申込があった。これから大会開催に向けた準備を進めて、当日スポーツ委員のお手伝いをいただいて安全・安心な大会運営を行う。

6. ライブラリー委員会（辰巳委員長）

- ・ 今月は特になし。来月委員会があるため、来月報告したい。

7. 日比友好文化委員会

- ・ 特に報告事項なし。

8. 2022 年 10 月事業報告及び 11 月事業予定（事務局）

- ・ 事務局より行事日程について資料に基づいて報告があった。

以 上

次回理事会 11 月 22 日 (火) 13 時～マニラ日本人会 22 階大会議室